

## 公立藤田総合病院の 経営問題

**問** 構成市町の負担割合について、構成首長間でどういう話し合いがなされたか。

**町長** 2月の管理者会では、現時点で負担割合を決めることは難しいということから、平成22年度の負担割合は、昨年と同様の考え方のもとに総額で1億3000万円を現行の負担割合で暫定的に負担することを申し合わせした。今後の負担割合の見直しについては、新年度になってから改めてよく協議をすることになっている。

**問** 22年度は資金不足にならないのか。

**町長** 21年度は業績の方も



上向き、一時借入れはしなくても済むことができた。新年度について、現在の試算では一時期、資金不足を予想しているが、今年度と同様の運営ができるよう対応していく。

**問** 負担割合の問題をいつ頃まで解決するのか。

**町長** 伊達市の負担割合が多くなることから、伊達市民や議会の皆さんの同意を得なければならぬということ、いろいろ難しい問題がある。伊達市長が再選されたので、前向きに進めたいとお話をいただいている。早い時期にまとめるよう努力してまいりたい。

### 元気なまちづくり

**問** 国見町の産業、経済の活性化のための施策は。

**町長** 町にある資源、宝を掘り起こし、その中から新しい活路を見い出していく。

### 財政問題について

**問** 実質公債費比率が17年が13・1%、18年が16・7

%、19年が17・5%、20年が18・7%と、右肩上がりだ。更に総人件費も平成17年が8億8500万円、18年が9億400万円、19年が9億200万円、20年が9億900万円。本気にならなかって財政改革をやっていないと大変ではないか。

**町長** 財政はご指摘のとおり、大変厳しい状況にある。実質公債費比率は、知事の起債許可が必要である18%を超している。公債費の繰り上げ償還などで努力をしてきたので、22年度以降については改善の見込みである。

平成22年度予算の中でも無駄や歳出の見直しを図っている。例えば観月台文化センターの入浴施設や自動交付機の廃止である。今後も費用対効果を十分見極めたうえで改善を図り、引き続き健全財政に取り組みたい。

## 平成22年度町長施政方針（要旨）

### 1. 安全安心のまちづくりの推進

風水害や地震等の自然災害、大規模な事件事故に備え、「国見町地域防災計画」「国見町国民保護計画」に基づき、町民全戸に一斉緊急通報のできる防災行政無線デジタル通報系施設の整備をすすめ、町民の安全安心に努めます。今年は森江野地区を対象に地域住民の皆さんも含めた防災避難訓練を計画しております。

### 2. 少子高齢者対策の推進

藤田小学校において実施している放課後児童健全育成事業（学童保育）について、昨年から森江野幼稚園の預かり保育と連携し、他の小学校の1～3年生までを対象に開設しましたが、今年は申込者が3名であったことから、藤田小学校で合わせて行うことにしました。また、幼児教育を一体的に進めるため、藤田保育所、季節保育所について所管を町長部局から教育委員会に移管し、幼児教育課を新設します。

高齢者対策については、いきいきサロンや介護予防、地域支えあい事業など引き続き実施し、高齢者福祉の充実に努めます。

### 3. 健康でいきいきとしたまちづくりの推進

「自分の健康は自分で守る」という意識の高揚を図り、特定健診事業（メタボリック健診事業）に万全を期し予防医療に力を入れます。公立藤田病院の経営が厳しい状況にあり、構成町として支援、経営再建向上のため力を尽くします。今年も8020運動、各種検診事業の充実に努めます。

### 4. 元気なまちづくりの推進

自然を活かしたまちづくりを進め、阿津賀志山整備構想を検討します。阿津賀志山防壁の調査と整備を国県の補助を受け年次計画で実施してまいります。また、道の駅については、国県との協議を見極めたうえ、実施計画を策定し実現に向け準備を進め、特産品開発の推進に努め、活気あるまちづくりを目指します。

### 5. 開かれた行政と協働のまちづくりの推進

行政評価をさらに進めるとともに、第5次振興計画の策定作業を進めます。

### 6. 国見町小学校の適正配置計画の推進と幼児保育体制の整備

保護者と地域の皆さまとの共同作業として、24年度小学校適正配置実現に向けて丁寧に進めます。